

第356回スキルアップ研修会 システムトラブル事案からみる 情報システム監査のポイント

情報システム監査では、監査ポイントをどのように設定するかが重要になります。そこで本研修会では、システム障害、情報セキュリティインシデント、システム開発失敗のシステムトラブル事案を題材にして、リスク視点からその原因を分析し、情報システム監査の着眼点と監査ポイントについて解説します。



配信期間

2025年2月12日（水）10:00から
2月18日（火）16:00まで



講義時間

3.5時間



申込締切日

2025年2月5日（水）16:00まで

この日時以降のキャンセルは承れません。
恐縮ながら参加費を全額お支払いいただきます。



開催形式

オンデマンド配信（事前に収録した講演を配信）

上記配信期間内ではいつでもご視聴いただけますので都合のよい日時にご受講ください。詳しくは本案内最終ページの「オンデマンド配信ご受講に際して」をご参照ください。



留意事項

※視聴コードが利用できなくなる場合があります。

本研修会のご視聴はお申込みされたご本人のみに限らせていただいております。視聴コードのご利用に不正の兆候を感知した場合、不正視聴を防ぐための機能が働き、動画再生ができなくなる場合がございます。予めご承知おきください。

※配信期間内にご視聴ください。

配信期間が終了しますと未視聴であっても本研修会を終了します。
必ず配信期間内にすべてのご視聴を終えてください。



受講対象

内部監査業務関係者



研修費

正会員／IIA個人会員 ￥15,400- (1名 消費税込)
非会員 ￥19,250- (1名 消費税込)

※災害等の影響により、研修会の開催が中止あるいは日時などに変更がある場合は、当協会ホームページ等でお知らせいたします。

主催：



一般社団法人日本内部監査協会
The Institute of Internal Auditors
Japan

◆ システムトラブル事案からみる情報システム監査のポイント ◆

1. システムトラブルの傾向と原因

- ・システムトラブルの発生局面例
- ・最近のシステムトラブルの傾向
- ・システムトラブルの原因分類

2. システムトラブル事案からみる情報システム監査のポイント

- 2.1 システム障害事案からみるシステム保守の監査ポイント
 - ・[事案1] システム保守作業中にエラーが発生し工場の稼働停止
 - ・その他のシステム障害事案
- 2.2 情報セキュリティインシデント事案からみるサイバーセキュリティの監査ポイント
 - ・[事案2] ランサムウェア攻撃を受け病院業務が2ヶ月間滞った
 - ・その他のサイバー攻撃事案
- 2.3 システム開発失敗事案からみるシステム開発プロジェクトの監査ポイント
 - ・[事案3] 稼働直後の初回バッチ処理が長時間経っても終了せずに異常終了
開発ベンダーが修補を拒否し新基幹システムの利用を断念
 - ・その他のシステム開発失敗事案

3. トピックス

AIシステムの開発・提供・利用のリスクとコントロール



講師

五井 孝 氏

株式会社大和総研
内部監査部 主事

中央大学大学院理工学研究科 客員教授
公認情報システム監査人(CISA)、システム監査技術者

※CPE単位について

「4.2CPE単位」が付与されます。⇒“CPE単位”とは、CIA、CCSA、CFSAおよびCRMA資格等の継続的専門能力開発制度における認定単位です。CPEを報告される方は、本研修会配信期間終了後に配信される「修了証メール」を受講証明として3年間保存をお願いします。

※テキストはPDFファイルを配信いたします。印刷したものでのお渡しはいたしません。

※研修内容・講師が、やむを得ず変更になる場合は、あしからずご容赦ください。

※講義の進行の都合上、上記タイムスケジュールが変更になる場合や、講義時間が延長される場合があります。

※講演の録画・録音はご遠慮ください。

※講演の視聴は土日祝日も可能ですが、土日祝日、及び休業期間中（年末年始、GW等）にお寄せいただいたお問合せについては、営業再開後順次対応させていただきます。お問合せの内容によってはお時間をいただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。